



つなぐ木のいのち

令和7年度 第1回 みんなで支える森林づくり上田地域会議

資料 【公表用加工版】

地域会議・県民会議の振り返り	3
令和7年度森林税活用事業の予算(県全体)	20
上田地域の森林税活用事業実績及び計画	
1 再造林の加速化	25
2 市町村と連携した森林整備支援	30
3 県民協働による里山整備・利用（開かれた里山）	35
上田地域の他所管事業の実績及び計画（参考）	40
その他(令和7年度におけるPR)	43
開かれた里山の整備事業について	別紙
【参考】みんなで支える森林づくりレポート	別冊

令和7年(2025年)9月29日(月)
上田地域振興局林務課

本日の会議の流れ

1 森林づくり県民税について

- (1)地域会議・県民会議の振り返り
- (2)令和7年度の森林税活用事業予算（県全体）



(3)上田地域の森林税活用事業実績及び計画

- ①再造林の加速化
 - ②市町村と連携した森林整備支援
 - ③県民協働による里山整備・利用（開かれた里山）
- (4)上田地域の他所管事業の実績及び計画（参考）



(5)その他（令和7年度におけるPR）



2 開かれた里山の整備事業について … 別紙

令和6～7年度 地域・県民会議の振り返り

令和6年度 第2回地域会議の結果

○県ホームページ
への議事録掲載
(右のとおり)

【アドレス】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/chiiki/r6.html>

○林務部への要約
版の提出（次頁以
降）

令和6年度みんなで支える森林づくり地域会議			
令和6年度会議開催状況			
地域会議名	令和6年度開催状況		問合せ先
	第1回	第2回	
佐久地域会議	開催日：9月25日（水曜日）	開催日：2月13日（木曜日）	佐久地域振興局 林務課 電話:0267-63-3152
上小地域会議	開催日：9月25日（火曜日）	開催日：2月13日（木曜日）	上田地域振興局 林務課 電話:0268-25-7137
諏訪地域会議	開催日：9月20日（金曜日）	開催日：2月19日（水曜日）	諏訪地域振興局 林務課 電話:0266-57-2919
上伊那地域会議	開催日：9月25日（水曜日）	開催日：2月6日（木曜日）	上伊那地域振興局 林務課 電話:0265-76-6823
南信州地域会議	開催日：11月6日（水曜日）		南信州地域振興局 林務課 電話:0265-53-0423
木曽地域会議	開催日：8月27日（火曜日）	開催日：2月18日（火曜日）	木曽地域振興局 林務課 電話:0264-25-2224

令和6年度第2回地域会議 開催結果（意見等）【林務部に提出】

1 地域会議で挙げられた意見等

（1）地域または全県の課題として検討を要する事項

構成員からの意見	地域会議事務局の見解
<p>【カラマツの低密度植栽と強度】</p> <p>①カラマツの合板利用が多い中で、低密度植栽が強度を確保できるのか。強度に与える影響について懸念。</p> <p>②地域ごとの特性を考慮し、低密度植栽でも良い品質のカラマツを育てるために、手間をかけることが重要。</p>	<p>保安林は通常の植栽密度、普通林は低密度植栽を導入する方針。</p> <p>低密度植栽の強度については、林業総合センターでの研究課題とするよう要望済み。</p>
<p>【並材生産という表現】</p> <p>並材生産という表現は適当ではないため、削除を提案。</p>	<p>(資料の修正はしないが) 議事録に記録されることによる議論に期待。</p>
<p>【製材業の支援】</p> <p>製材業の担い手が厳しい状況にあるため、補助をお願いしたい。</p>	<p>補助制度はないが、できることは協力したい。</p>
<p>【参加型の活動：開かれた里山】</p> <p>地域の自治会や山林組合に活動を知らせるためのパンフレットを作成したり、森林税の使い道を具体的に示し、地域の子どもたちも巻き込んだ活動をアピールすることが重要。</p>	<p>地域の自治会や山林組合の会合等の機会ごとに出向き、活動メニュー等を説明する予定。</p>

令和6年度第2回地域会議 開催結果（意見等）【林務部に提出】

（2）県民会議事務局の見解を求められている事項

構成員からの意見	地域会議事務局の見解
特になし	

（3）その他、構成員から挙げられた意見等

【森林と教育】

- ・森の整備を通じて子供たちや保護者が変わっていく。
- ・子供たちが自然に関わる仕事に興味を持つことが重要。
- ・教育現場と森林を繋げる役目の人人が全国で増えており、森林関係の専門家と教育現場が連携することで、里山作りや人材育成に繋がる。

【市町村の林業分野の専門家不足】

- ・市町村では林業の専門家の採用が難しい状況にあり、県職員OBを林政アドバイザーとして雇用しているが人材不足。
- ・地域振興局林務課と協力し、人材のマッチングの支援をお願いする。

2 その他特筆事項（地域会議事務局の意見、構成員からの肯定的な意見等）

【林業の就業者数】

- ・林業の従事者や新規就業者が増えていることを喜ばしく思っている。
- ・長野県の支援金や助成金の効果があったと考えている。

【木材利用促進（市町村職員より）】

- ・市町村による積極的な木材利用のため大規模木造施設への補助を検討されたい。

【森林税の配分方法（市町村職員より）】

- ・市町村職員の負担軽減のため、個別地区でなく広域とする、不用額を隣接地区に流用可能とする等の対応を検討されたい。

令和7年度 第1回県民会議の開催状況

1 日時：第1回 令和7年5月22日（木）

2 場所：塩尻市（県林業総合センター）

3 会議事項

(1) 第4期森林づくり県民税活用事業の進捗状況と課題について

- ・第4期の進捗状況と課題／第4期の今後の活用見通し
- ・R6事業の実施状況／R7事業の内容及び目標
- ・地域会議の開催状況（上田地域を含むR6第1、第2回議事録等）
- ・県民税の基本方針の一部改正の概要

(2) その他

4 公開状況

- ・資料等・議事録：県ホームページで公開済み

【県ホームページアドレス】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/kenmin/h26-01.html>

令和7年度 第1回県民会議の開催状況

長野県 Nagano Prefecture

防災・安全 | 暮らし・環境 | 健康・医療・福祉 | 教育・子育て | 仕事・産業 | [みんなで支える森林づくり県民会議](#)

Google 提供

ホーム > 仕事・産業・観光 > 森林・林業 > 長野県森林づくり県民税（通称：森林税）> 長野県森林づくり県民会議

更新日：2025年9月4日

みんなで支える森林づくり県民会議

長野県森林づくり県民税を活用して行う事業について、効率的かつ効果的な取り組みを推進するため、その内容等について御意見をいただくとともに、事業成果の検証等を行う「みんなで支える森林づくり県民会議」を設置しています。

会議開催状況

会議の内容（資料、議事録等）は各回をクリックしてください

令和7年度

[第1回会議 令和7年5月22日（木曜日）長野県林業センター5階会議室](#)

[第2回会議 令和7年9月5日（金曜日）](#)

現地調査：佐久市・立科町

会議：佐久合同庁舎 講堂

令和6年度

[第1回会議 令和6年6月1日（土曜日）長野県林業センター5階会議室](#)

令和7年度第1回みんなで支える森林づくり県民会議

開催日時

令和7年5月22日（木曜日）13時30分から15時まで

開催場所

長野県林業センター5階 会議室

出席者

【構成員】（敬省略）

秋葉 芳江
新井 あゆみ（欠席）
伊藤 祐三（オンライン）
上原 貴夫
大久保 審一（欠席）
嶋村 浩
清水 美希代
高見澤 秀茂
寺崎 孝太郎
中村 誠
平賀 裕子（欠席）
福越 優世
三木 政朗
村松 敏伸
山岸 吉昭
(15名)

【長野県】

根橋林務部長、千代林務部次長、森林政策課長、森林づくり推進課長、県産材利用推進室長、鳥獣対策担当課長及び林務部等関係部局職員

【県ホームページアドレス】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/kenmin/h26-01.html>

令和7年度 第1回県民会議の開催状況

資料「第4期森林づくり県民税活用事業の進捗状況と課題について」の要約（1）

- 第4期森林税(令和5～9年度)が開始されて2年が経過したため、R8,9年度の事業執行に向けて意見を頂きたい
- 取組の進捗等に課題のあるもの
 - ・再造林の加速化(人工造林・初期保育の嵩上げ)
【課題】認識・取組に地域差がある
→【対応】①事業者に説明②省力化・低コスト化を推進
 - ・防災・減災のための里山整備
【課題】事業の周知不足による協定書締結の遅れ
→【対応】松くい虫対策事業と併せて実施可能であることを周知
 - ・あたりまえに木のある暮らし推進事業
【課題】1箇所当たりの規模が小さく予算比での執行率が低い
→【対応】R7から中大規模施設を補助対象に追加

令和7年度 第1回県民会議の開催状況

資料「第4期森林づくり県民税活用事業の進捗状況と課題について」の要約（2）

○県民ニーズが高いもの

- ・学校林の整備等(学びと育ちの森づくり推進事業)
→【対応案】目標値を上方修正
- ・ライフライン等の保全対象(市町村森林整備事業)
→【対応案】緊急性の高い箇所を対象に目標値・活用額を上方修正
- ・緩衝帯の整備(市町村森林整備事業)
→【対応案】必要箇所を精査し、目標値・活用額を上方修正
- ・河畔林整備事業
→緊急性の高い箇所を対象に目標値を上方修正

令和7年度 第1回県民会議の開催状況

資料「森林づくり県民税に関する基本方針の一部改正の概要」の要約

- 松くい虫被害が2年連続で微増したが、被害森林の再造林に森林所有者が消極的
- 「防災・減災のための里山整備の未実施」を主な理由として、第3期末に積み立てた1.2億円を活用しアカマツ林を広葉樹等へ更新する取組を追加

参考資料6

「長野県森林づくり県民税に関する基本方針」の一部改正の概要
令和7年3月
長野県

1 改正事項

(1)「防災・減災のための里山整備」におけるアカマツ林整備に係る取組の追加

ア 現状・課題

当該取組では、平成30年度から令和4年度までの第3期森林づくり県民税において、未完了となった、「土砂灾害や立木被害を防止するため、防災・減災の観点から整備が必要な里山の間伐」(以下「防災・減災のための里山整備」という。)を実施しているが、事業対象森林のうち、アカマツ林については以下の理由から、他の樹種と比較して整備が進みづらい状況となっており早急な改善が求められる。

- ・松くい虫被害が直近2年連続で微増傾向となっており、被害拡大地域等では、事業対象森林への松くい虫被害拡大し森林の荒廃が懸念される。
- ・整備(間伐)後に、残存木に松くい虫被害が発生し、被害木の伐倒駆除が必要になる可能性があるため、所有者等が間伐に対して消極的になりやすく整備が進まない。

イ 事業の改善内容

被害森林や被害拡大的危険性が高い林分においては、確実に更新が図されることを条件に從来の間伐に代わりアカマツ林を伐採して広葉樹林等へ転換する取組(更新伐)を支援対象に追加する。

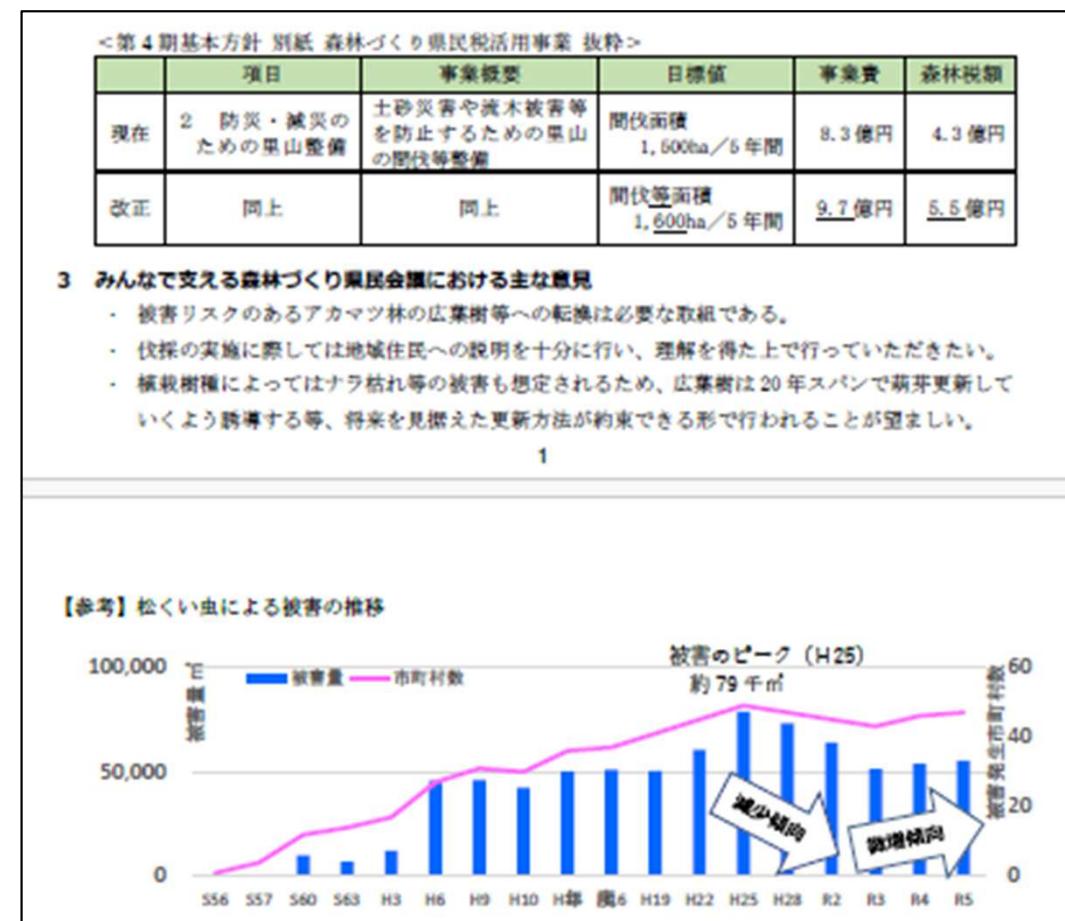
(2)「防災・減災のための里山整備」の目標値等の修正

第3期森林税において、「防災・減災のための里山整備」により間伐が必要な森林のうち、一部の森林で第3期中に間伐が完了しない見通しとなったことから、令和5年度から令和9年度までの第4期森林税では、第3期末完了見込分(1,500ha)の里山の間伐を実施する方針として、第4期の長野県森林づくり県民税に関する基本方針(以下「第4期基本方針」という。)を令和4年11月に策定した。

一方、第3期末での「防災・減災のための里山整備」の最終実績が第4期基本方針策定期の見込を100ha下回り、第4期森林税において実施すべき間伐の面積が100ha増加していることから、第4期基本方針に示す面積を現在の1,500haから1,600haに改める。

2 追加等に係る財源について

第3期末において「防災・減災のための里山整備の未実施」を主な理由として、約1.2億円を基金に積み立てていることから、当該基金を財源として活用し上記1の改正事項へ対応する。



令和7年度 第2回県民会議の開催状況

1 日時：第2回 令和7年9月5日（金）

2 場所：佐久市（県佐久合同庁舎）

3 会議事項

(1) 森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について

- ・森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について
- ・森林づくり県民税に関する基本方針 概算事業費の内訳
- ・R7森林づくり県民税活用事業 事業別予算執行及び取組進捗状況
- ・R7地域会議の開催状況

(2) その他

4 公開状況

- ・資料等：県ホームページで公開済み
- ・議事録：作成中

【県ホームページアドレス】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/kenmin/h26-01.html>

令和7年度 第2回県民会議の開催状況

長野県 Nagano Prefecture

防災・安全 | 暮らし・環境 | 健康・医療・福祉 | 教育・子育て | 仕事・産業

Google 提供

ホーム > 仕事・産業・観光 > 森林・林業 > 長野県森林づくり県民税（通称：森林税）> 長野県森林づくり県民会議

更新日：2025年9月4日

みんなで支える森林づくり県民会議

長野県森林づくり県民税を活用して行う事業について、効率的かつ効果的な取り組みを推進するため、その内容等について御意見をいただくとともに、事業成果の検証等を行う「みんなで支える森林づくり県民会議」を設置しています。

会議開催状況

会議の内容（資料、議事録等）は各回をクリックしてください

令和7年度

第1回会議 令和7年5月22日（木曜日）長野県林業センター5階会議室

第2回会議 令和7年9月5日（金曜日）

現地調査：佐久市・立科町

会議：佐久合同庁舎 講堂

令和6年度

第1回会議 令和6年6月1日（土曜日）長野県林業センター5階会議室

令和7年度第2回みんなで支える森林づくり県民会議

開催日時

令和7年9月5日（金曜日）13時45分から15時15分まで

開催場所

佐久合同庁舎 講堂

出席者

【構成員】（敬省略）

秋葉 芳江（欠席）
新井 あゆみ（欠席）
伊藤 祐三（欠席）
上原 貴夫
大久保 審一（欠席）
嶋村 浩
清水 美希代（オンライン）
高見澤 秀茂（欠席）
寺崎 孝太郎
中村 城
平賀 裕子
振越 倫世（欠席）
三木 敏朗
村松 敏伸
山岸 吉昭
(15名)

【長野県】

千代林務部次長、森林政策課長、信州の木活用課長、森林づくり推進課長、県産材利用推進室長、鳥獣対策担当課長及び林務部等関係部局職員

【県ホームページアドレス】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/kenmin/h26-01.html>

令和7年度 第2回県民会議の開催状況

資料「森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について」の要約（1）

1 趣旨

第1回会議時の意見等を踏まえ、事業の改善や基本方針の修正を図りたい。

【第1回会議での主な意見】

- ・森林税基金残高が増えているのは改善が必要（地域会議でも指摘あり）
- ・主伐・再造林の推進には、必要な予算を必要な地域にしっかりと配分する必要がある
- ・アカマツの更新伐について、材価等の問題から採算が合わず、手を付けづらいのでは

2 事業の今後の方向性

○取組の進捗等に課題のあるもの

(1)主伐、再造林の加速化

表1 再造林面積の推移

	R5	R6	R7	R8	R9	合計
当初計画	260	420	580	740	900	2,900
現在の見通し	247	238	300	－	－	－

- 主伐・再造林の加速化は本県森林行政の最重要課題の一つであることから、事業費を最大限活用した上で、少しでも進捗が図れるよう、事業の改善、森林税の活用等に取り組んでいくことが必要

【主な課題と取組（案）】

- ・地形や樹種の違いにより収益性に差がある
⇒：地形条件に沿った補助単価の検討
：主伐が進むカラマツ以外の樹種の付加価値向上に取組む
- ・再造林意欲のある事業者のニーズ（国庫補助金の配分要望）に応えきれていない
⇒：執行残額が生じる箇所を早期に把握し、執行残額を意欲のある事業体に再配分
：国庫補助金を代替する形での森林税の活用（県単独補助の導入）
- ・種の供給が凶作、豊作に左右され不安定
⇒ 安定的な種の確保に向け、種を採取する際の作業車のリース費用等を支援

令和7年度 第2回県民会議の開催状況

資料「森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について」の要約（2）

- 取組の進捗等に課題のあるもの

(2)防災・減災のための里山整備

◆ 間伐

- 第4期計画期間（R5～R9）の事業進捗が低調であり、積極的に活用されるよう事業の見直しを行うことが必要
- 対象区域で当事業を活用しない間伐もあり、これらを含め適切に効果を評価することが必要

【主な課題と取組（案）】

- ・ 主伐を一定期間制限するなどの転用制限期間（10年）等を定めた協定締結が負担
(転用制限期間が長い（他事業5年）、事務作業が負担)
⇒ 協定締結を廃止（過去に実施した箇所については協定期間を見直し）し、
転用制限期間を他事業と同じ5年間に統一
- ・ 間伐のみが補助対象であり、他の森林整備との組み合わせができない
(例えば、間伐と緩衝帯の整備)
⇒ 緩衝帯の整備やライフラインの危険木伐採等の他の森林整備も補助対象に追加
- ・ 森林税を活用しない防災・減災のための間伐も一定程度進んでおり、進捗管理を合わせて行うことが必要
⇒ 他の事業を活用して整備された箇所 約138ha (H30～R6)も実績値として加算

令和7年度 第2回県民会議の開催状況

資料「森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について」の要約（3）

- 取組の進捗等に課題のあるもの

(2)防災・減災のための里山整備

◆ 更新伐

- 松くい虫被害の特性を踏まえた整備が進むよう、
基本方針の事業概要を一部修正する



被害箇所（安曇野市）

【現状と改善の方向性（案）】

- ・被害箇所は令和3年～5年で微増傾向であり、依然として対策すべき箇所が多い
 - ・松くい虫被害の特性（単木→山一帯への広がり）から、住民や観光客の防災及び景観上の心理的不安につながる
- ⇒上記の観点から、人々の目につきやすく景観にも配慮する箇所から整備を進めることとし、被害木が適正に処理できるよう補助単価を設定する

【基本方針のうち事業概要の改正】

	現行	改正案
事業概要	土砂災害や流木被害等を防止するための里山の間伐等整備	土砂災害や流木被害等の防止、景観の改善をするための里山の間伐等整備

令和7年度 第2回県民会議の開催状況

資料「森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について」の要約（4）

- 県民ニーズが高い事業（目標値の修正を行うもの：事業費は当初計画の範囲内で実施）

《学校林の整備等（学びと育ちの森づくり推進事業）》

- 子どもの森林・林業への理解と関心を深め、健全な心と体の育成に向け、学校等の教育の場で森林の活用ニーズが高い状況
- 初年度（R5）に予定を大きく上回る箇所の整備が進み、令和8年度には目標を達成する見込みだが、目標値を上方修正して取組を継続する。



【各年度の実施状況】（目標値との増減）

R 5 年度 19 箇所 (+9)

R 6 年度 5 箇所 (±0)

【目標値の上方修正（案）】

指標	現状	改正案
学校林整備等の実施箇所数	30 箇所 / 5年	35 箇所 / 5年

《河畔林整備事業》

- 令和5年度、令和6年度ともに、目標を超える箇所の整備が進んでおり、令和8年度には目標を達成する見込み（財源は入札差金を有効活用して実施）
- 近年の集中豪雨等による災害の発生状況等から、依然として、地域のニーズが高い状況であり、目標値を上方修正して取組を継続する。

【各年度の実施状況】（目標値との増減）

令和5年度 19 箇所 (+5 箇所)

令和6年度 18 箇所 (+4 箇所)

整備状況（駒ヶ根市）



【目標値の上方修正（案）】

指標	現状	改正案
河川沿いの支障木伐採	70 箇所 / 5年	85 箇所 / 5年

令和7年度 第2回県民会議の開催状況

資料「森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について」の要約（5）

- 県民ニーズが高い事業（目標値の記載方法・内容の修正及び事業費の増額を行うもの）

《ライフライン等の保全対策、観光地の景観整備、緩衝帯の整備（市町村森林整備支援事業）》

【目標値及び事業費の上方修正】

ライフライン等の保全対策と緩衝帯の整備事業については、災害への備えやクマ出没事案の多発を背景に、依然として地域ニーズが高い状況であることから、目標値及び事業費を上方修正の上、取組を継続させたい。

事業費については、これまでの不執行額を活用して対応する。

【運用方法の見直し】

事業毎に目標値を設定しており、災害等の突発的な事案に対応することが困難な状況であることから、柔軟な対応を行えるよう、3事業を統合（大括り化）して弾力的に運用する

【改正内容案】

項目	現行		改正案
	目標値	森林税額	
ライフライン等の保全対策	整備箇所数 150 箇所/5年間	2.0 億円	整備箇所数 440 箇所/5年間 森林税額 4.8 億円
観光地の景観や緩衝帯の整備	観光地の景観整備箇所数 100 箇所/5年間 緩衝帯の整備箇所数 100 箇所/5年間	2.0 億円	(内訳) ライフライン 190 箇所/5年間 観光地の景観整備 100 箇所/5年間 緩衝帯の整備 150 箇所/5年間

令和7年度 第2回県民会議の開催状況

資料「森林づくり県民税に関する基本方針 概算事業費の内訳」

長野県森林づくり県民税に関する基本方針 概算事業費の内訳

参考資料1

区分	項目名	基本方針				現時点の執行見込		
		現行		見直し案		森林税額(億円)	見直し後の基本方針との差(億円)	備考(主な増減理由等)
		目標値	森林税額(億円)	目標値	森林税額(億円)			
1 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	再造林の加速化	再造林面積 2,900ha	11.3	(変更なし)	11.3	11.3	0.0	少しでも目標達成に近づけるよう事業改善
	防災減災のための里山整備	間伐等面積 1,600ha	5.5	(変更なし)	5.5	5.5	0.0	事業の活用が進むよう事業改善
2 森や緑、木のぬくもりに親しみことのできる環境づくり	開かれた里山の整備事業 里山が広く楽しめる里山づくり 開かれた里山の整備・利用推進事業	里山が広く親しめる里山整備利用地域の数 50箇所	2.8	(変更なし)	2.8	2.8	0.0	
	広く県民が利用する施設等の木造木質化	木造・木質化等の箇所数 55箇所	2.0	(変更なし)	2.0	1.7	-0.3	
	やまほいくのフィールドや学校林等の整備支援等	信州山ほいく認定園のフィールド整備箇所数 40箇所	0.3	(変更なし)	0.3	0.3	0.0	
	まちなかの緑・街路樹の整備	学校林等の整備及び活動支援 信州まちなかグリーンインフレッシュ推進計画に基づくまちなかの緑化・整備 街路樹の整備	学校林整備等の実施箇所数 35箇所 信州まちなかグリーンインフレッシュ推進計画に基づくまちなかの緑化・整備 街路樹の整備延長 20km	0.3 0.9 0.5	(変更なし) (変更なし) (変更なし)	0.3 0.9 0.5	0.0 0.0 0.0	
3 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援	森林サービス産業活動支援 森林サービス産業人材育成支援 地球温暖化防止吸収源対策推進	森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数 50プロジェクト	1.5	(変更なし)	1.5	1.5	0.0	
	多様な手kre成保育	エコツーリズムガイドの育成人数 25人	0.1	(変更なし)	0.1	0.1	-0.3	令和5年度、6年度の小規模事業体への支援事業の要望が少なかったため
4 市町村と連携した森林等に開拓する問題の解決	ライフライン等保全対策 観光地の景観や緩衝帯の整備 鳥獣被害防止のための緩衝帯整備 病害虫被害対策 河川沿いの支撑木伐採	整備箇所数 150箇所 観光地の景観整備箇所数 100箇所 緩衝帯の整備箇所数 100箇所 被害木伐採材積 0.440m ³ 枯損木利活用材積 10,000m ³	2.0 4.8 2.0 3.0 2.0	(変更なし) 190箇所 100箇所 150箇所 (変更なし) (変更なし)	2.0 2.0 2.0 3.0 2.0	440箇所 190箇所 100箇所 150箇所 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	4.8	整備箇所数 440箇所(内訳) ①ライフライン等保全対策 ②観光地の景観整備箇所数 ③緩衝帯の整備箇所数
5 普及啓発、評価検証	森林づくりを推進するための普及啓発、森林税事業の評価・検証	整備箇所数 70箇所	2.0	整備箇所数 85箇所	2.0	35.6	36.4	※1
	合計		35.6			35.8	36.4	※2

※1 基本方針に記載している概算事業費は、各事業毎に活用を予定している上限額(概ね)を記載しています。

※2 第4期に活用可能な金額(約35.8億円)の範囲内で、効率的な事業執行を図ります。なお、税収額は、当初想定よりも0.2億円増の見込みです(令和7年度末時点)。

森林税活用事業の実績及び予算（県全体）

令和7年度森林税活用事業の予算額及び7月末進捗状況(1)

事業区分			予算額 (千円)	執行額 (千円)	執行率	目標及び実績					備 考				
事業名	事業概要					基本方針の目標 (単位)	5年間の目標	<R7年度>							
								目標	実績						
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり			386,635	99,751	26%										
再造林の加速化	①-1	【人工造林・初期保育の嵩上げ】 主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林・下刈り等の初期保育を支援	230,760	87,975	38%	再造林面積 (ha)	2,900								
	①-2	【再造林省力化モデル推進事業】 再造林の省力化を図るために必要な架線の設置・撤去や自走式下刈り機のリース料等を支援	12,000	1,864	16%			580	192	33%	第2回申請（6月末）完了分				
	①-3	【再造林推進シカ捕獲サポート】 再造林後の森林の確実な更新を図るために罠の見回りや機器の保守作業等を支援	2,100	327	16%										
	小計		244,860	90,167	37%										
防災・減災のための里山整備	②	未整備の里山のうち、防災・減災のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援	141,775	9,585	7%	間伐面積 (ha)	1,600	527	32	6%	第2回申請（6月末）完了分				
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり			162,686	38,182	23%										
開かれた里山整備事業	③-1	より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進	32,874	1,041	3%	県民が広く親しめる里山整備利用地域の箇所数 (箇所)	50				③-1 第2回申請（6月末）完了分				
	③-2	地域住民等による里山の森林管理体制を確立するため、整備・利用計画の樹立や資機材導入等の活動基盤整備を支援	23,472	22,805	97%			10	3	30%	③-2 申請受付（～9月末）				
	小計		56,346	23,846	42%										
木造・木質化支援事業	④-1	【広く県民が利用する施設等の木造・木質化】 民間施設等の木造・木質化等の支援、県有施設の木造・木質化等の推進	59,900	4,540	8%	木造・木質化等の箇所数 (箇所)	55								
	④-2	【木工体験の推進支援】 小中学生等を対象とした木工教室などの木工体験活動を支援	1,500	0	0%			11	7	64%	申請受付中 実施見込み・・・11箇所				
	④-3	【長野県産材CO2固定量認証】 県産材を使用した建築物等のCO2固定量の認証や工務店等に対する認証制度の広報活動を推進	600	0	0%										
	小計		62,000	4,540	7%										
やまほいくのフィールド整備 や学校林の整備等	⑤	【信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業】 自然保育に係るフィールド等の整備を行う認定園に対し整備費用を補助	6,000	0	0%	フィールド整備の箇所数 (箇)	40	8	0	0%	申請受付中 実施見込み・・・8校				
	⑥	【学びと育ちの森づくり推進事業】 ※地域の里山や学校林を利活用して行う森林環境教育を支援	6,500	5,746	93%	学校林整備等の箇所数 (箇所)	30	6	0	0%	申請受付中 実施見込み・・・6校				
	小計		12,500	5,746	46%										
まちなかの緑・街路樹の整備	⑦	【まちなかの緑地整備事業】 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づく街中の緑地整備を支援	4,000	2,000	50%	緑地整備の箇所数 (箇所)	10	5	3	60%	実施見込み・・・5箇所				
	⑧	【まちなかの緑地保全事業】 街中の緑地保全の実施 <県> (14,800千円) 【まちなかの緑地保全補助事業】 街中の緑地保全の支援 <市町村> (3,040千円)	17,840	2,050	11%	緑地の保全延長 (km)	32	9.5	3.0	32%	実施見込み・・・9.5km				
	⑨	【観光地の景観整備(県単道路橋梁維持修繕費)】 景観形成のための街路樹の整備・植樹	10,000	0	0%	整備延長 (km)	20	5.8	0.0	0%	事業費の削減のため、秋の落葉後に事業実施予定				
	小計		31,840	4,050	13%										

令和7年度森林税活用事業の予算額及び7月末進捗状況(2)

III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援			52,522	27,636	53%						
森林サービス産業総合対策事業	⑩-1	【森林サービス産業活動支援事業】 健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援	24,129	18,435	76%	森林サービス 産業に取り組む 地域プロジェクト数 (プロジェクト)	50	10	0	0%	
	⑩-2	【森林サービス産業人材育成支援事業】 森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等	5,335	5,228	98%						
		小計	29,464	23,663	80%						
地球温暖化防止吸収源対策推進事業（長野県森林CO2吸収評価認証制度）			⑩-3 森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証	290	0	0%					
信州ネイチャーセンター構築事業			⑪ 自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会の開催	2,000	0	0%	エコツーリズム ガイドの育成人数 (人)	25	5	0	0% 研修会開催予定（9月）
多様な林業の担い手確保育成事業			⑫ 林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援	20,768	3,974	19%	多様な林業に関わる 新規就業者数 (人)	200	40	-	※令和7年度実績は、令和8年度林業事業体等調査により把握
IV 市町村と連携した森林等に関する課題の解決			208,780	128,887	62%						
市町村森林整備支援事業	⑬	【ライフライン等の保全対策】 ライフライン等保全のための支障木等の伐採	40,000	39,838	100%	整備箇所数 (箇所)	150	20	36	180%	
	⑭	【観光地の景観整備】 観光地の魅力向上に向けた森林整備	24,300	15,577	64%	観光地の 景観整備箇所数 (箇所)	100	20	15	75%	
	⑮	【緩衝帯の整備】 野生鳥獣による被害防止のための森林整備	28,000	15,289	55%	緩衝帯の 整備箇所数 (箇所)	100	35	18	51%	他事業の実施不執行額を活用してさらに取組を進める見込み
	⑯	【森林の病害虫被害対策】 病害虫被害による枯損木の有効活用	74,000	58,183	79%	枯損木利活用材積 (m³)	10,000	2,800	1,414	51%	
	⑰	【森林の病害虫被害対策】 森林外や未被害市町村での被害木処理等				被害木処理材積 (m³)	5,400	800	289	59%	
		小計	166,300	128,887	78%						
河畔林整備事業	⑯	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援	42,480	0	0%	整備箇所数 (箇所)	70	17	0	0%	渇水期である11月以降に実施予定
V 普及啓発、評価検証			7,128	4,090	57%						
みんなで支える森林づくり推進事業	⑯	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等	7,128	4,090	57%	-	-	-	-	-	
合 計 (a)			817,751	298,547	37%						

令和6年度森林税活用事業の地域振興局別実績(1)

事業名	事業主体	補助率	地域振興局別執行額			県域	計
			佐久	上田	諏訪		
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり							
再造林の加速化	①-1 信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の高上げ）	市町村、森林組合、林業事業体、NPO法人等 10/10	55,231,800	31,401,300	2,698,800	0	106,685,400
	①-2 再造林省力化モデル推進事業	市町村、森林組合、林業事業体、NPO法人等				0	0
	①-3 再造林推進シカ捕獲サポート事業	市町村				0	0
防災・減災のための里山整備	② みんなで支える里山整備事業	市町村、森林組合、林業事業体、NPO法人等 9/10	17,238,600	0	12,686,400	0	91,036,000
I 小計			72,470,400	31,401,300	15,385,200	0	197,721,400
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり							
開かれた里山の整備事業	③-1 みんなで支える里山整備事業	里山整備利用推進協議会、林業事業体等 9/10	1,620,900	0	0	0	8,906,400
開かれた里山の整備・利用推進事業	③-2 里山整備利用地域活動推進事業	里山整備利用推進協議会 10/10	977,000	1,528,000	336,000	0	13,675,000
	里山資源利活用推進事業	里山整備利用推進協議会 3/4	1,125,000	560,500	198,000	0	3,742,250
	開かれた里山の管理・整備マニュアル作成	県	-	0	0	1,969,000	1,969,000
あたりまえに木のある暮らし推進事業	④-1 広く県民が利用する施設等の木造・木質化	民間事業者、市町村等 1/3～2/3	1,572,000	0	0	0	5,918,000
		県	-	0	0	3,156,000	7,369,000
		(うち、R. 6へ継続)				(1,000,000)	(4,234,000)
やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等	④-2 木工体験の推進支援	木材関連事業者が組織する団体 3/4				1,050,000	1,050,000
	④-3 長野県産材CO2固定量認証	県	-			214,068	214,068
	⑤ 信州やまほいく認定団体保育環境向上事業	市町村、学校法人、NPO法人等 9/10 1/2	1,043,546	0	913,973	0	5,800,000
まちなかの緑・街路樹の整備	⑥ 学びと育ちの森づくり推進事業	市町村、学校法人、NPO法人、みどりの少年切削組合等 9/10 10/10	0	90,000	411,840	0	4,121,323
		県（県立学校等）	-	428,261	0	0	1,519,264
	⑦ まちなかの緑地整備事業	市町村、NPO、民間団体等 1/2 1/3	0	1,000,000	0	0	1,000,000
	⑧ まちなかの緑地保全事業	県	-	0	2,000,000	0	7,960,000
	⑨ まちなかの緑地保全補助事業	市町村	1/2	0	181,000	0	2,071,000
II 小計			6,766,707	5,359,500	5,859,813	7,389,068	75,315,305

令和6年度森林税活用事業の地域振興局別実績(2)

事業名	事業主体	補助率	地域振興局別執行額			県域	計
			佐久	上田	諏訪		
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援							
森林サービス産業 総合対策事業	⑩-1 森林サービス産業活動 支援事業	森林空間整備・施設整備	市町村、森林サービス産業 提供事業者等 (55、R.6へ経緯)	9/10 1/2	0 0	0 0	9,020,301 (1,740,000)
		森林サービス産業創業支援・地域活動支援	原	-			816,333 816,333
		企業連携活動	原	-			628,339 628,339
		ニーズ把握調査	原	-			700,289 700,289
	⑩-2 森林サービス産業人材 育成支援事業	森林サービス産業人材育成支援事業	原	-			2,646,878 2,646,878
		里山利活用人材の育成	原	-			2,791,800 2,791,800
地球温暖化防止吸収源対策推進事業	⑪-3 地球温暖化防止吸収源対策推進事業	原	-				52,046 52,046
信州ネイチャーセンター構築事業	⑫ 信州ネイチャーセンター構築事業	原	-				1,899,700 1,899,700
多様な林業の担い手 確保育成事業	⑬ 林業認知度向上対策	原	-				2,068,000 2,068,000
	多様な林業の担い手確保育成事業	林業労働財団	10/10	331,734 100,000	100,000	0	2,224,404 3,363,677
III 小計				331,734	100,000	0	13,827,789 23,987,363
IV 市町村と連携した森林等に関する課題の解決							
市町村森林整備支援事業	⑩-1 ライフライン等の保全対策	市町村	9/10	2,611,000	3,319,000	1,935,000	0 69,439,000
	⑩-2 観光地の景観整備	市町村	9/10	2,701,000	765,000	5,044,000	0 34,810,000
	⑩-3 緩衝帯の整備	市町村	9/10	1,857,000	0	0	0 15,107,000
	⑩-4 枯損木利活用	市町村	9/10	0	873,000	0	0 21,326,000
	⑩-5 森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	市町村	1/2	643,000	1,318,000	0 4,847,000
		未被害市町村処理	市町村	1/2	0	0	0 2,886,000
河畔林整備事業	⑭ 河畔林整備事業	市町村	9/10	7,200,000	6,300,000	4,050,000	0 40,050,000
IV 小計				15,012,000	12,575,000	11,215,000	0 188,465,000
V 普及啓発、評価検証							
みんなで支える森林づくり 推進事業	⑮-1 みんなで支える森林づくり推進事業	県	-	501,318	252,384	328,186	1,483,524 4,780,158
	⑮-2 「体験学習の森」事業	県	-				1,224,700 1,224,700
V 小計				501,318	252,384	328,186	2,708,224 6,004,858
合計				95,082,159	49,688,184	32,788,199	23,925,081 491,493,926

※本表は各年度への繰越分を含めて記載している

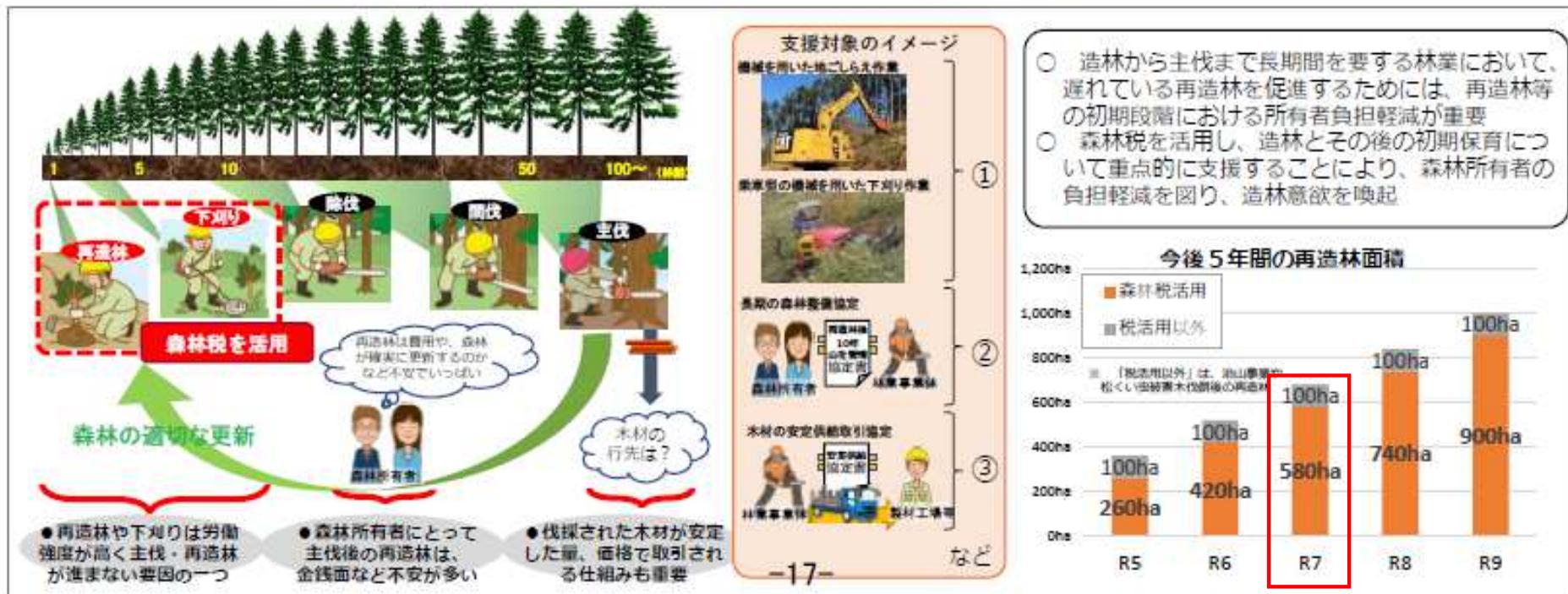
上田地域の森林税活用事業実績及び計画 1（再造林の加速化）

再造林（森林の若返り）の加速化（再掲）

目的：2050ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林の8割が50年生を超える本県の森林がCO₂吸収機能を発揮できるよう、国庫補助事業と森林税を組み合わせて活用することにより、若い森林への更新を加速化

目指す姿：計画的な主伐・再造林により資源の循環利用を行う森林（地形や道路からの距離などの条件から算定した効率的な施業が可能な森林）を約10万haと想定し、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築
→ 当面5年後（R9）の再造林面積を年間1,000haとする（10年後には年間1,250haへ）

- 長野県主伐・再造林推進ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援。併せて省力化・効率化等の取組を推進
 - [推進する取組例：①造林の省力化・効率化の推進 ②森林所有者との森林整備協定の締結 ③地域材の安定供給のための取引協定の締結 ④環境配慮の推進（生物多様性に配慮） ⑤獣害対策の推進（捕獲従事者と連携・協力したシカ捕獲の推進など）等]
 - 森林税を活用し、5年間で概ね2,900haの再造林等を支援
- 補助率等
・補助率：10/10※（国庫及び一財 7/10、森林税 3/10）
・森林税：11.3億円（5年間）
※標準的な経費に対する補助率



再造林（森林の若返り）の加速化 令和7年度森林税による嵩上げ（実績/計画（R7.9時点））

市町村	事業主体	人工造林 地拵え	人工造林 植栽	下刈	獣害対策 水和剤	計	
上田市	上田市東御市 真田共有 財産組合	1 / 17 ha	1 / 18 ha	0 / 25 ha	-	2 / 61 ha	
		12 / 307 万円	34 / 762 万円	0 / 230 万円	-	46 / 1,300 万円	
		9 / 26 ha	5 / 16 ha	31 / 34 ha	-	45 / 77ha	
		108 / 345 万円	112 / 426 万円	260 / 286 万円	-	480 / 1,057 万円	
東御市	信州上小 森林組合	3 / 3 ha	-	-	-	3 / 3 ha	
		26 / 26 万円	-	-	-	26 / 26 万円	
長和町		9 / 29 ha	9 / 29 ha	4 / 30 ha	0 / 12 ha	21 / 101 ha	
		140 / 349 万円	265 / 776 万円	31 / 246 万円	0 / 42 万円	436 / 1,413 万円	
青木村		11 / 27 ha	18 / 20 ha	15 / 35 ha	0 / 20 ha	44 / 103 ha	
		109 / 270 万円	532 / 580 万円	128 / 298 万円	0 / 74 万円	769 / 1,222 万円	
計	2 者	32 / 103 ha	32 / 84 ha	50 / 125 ha	0 / 33 ha	115 / 344 ha	
		394 / 1,296 万円	944 / 2,545 万円	419 / 1,061 万円	0 / 115 万円	1,756 / 5,018 万円	

※①面積、金額は森林税による嵩上げ分のみを記載、②金額は千円以下四捨五入のため計と合わない、③東御市の森林組合分には祢津沢生産森林組合分を含む

再造林（森林の若返り）の加速化 森林税による嵩上げ実績

信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)	① 県全体	② 上田地域	②／①
令和6年度	目標：420ha	実績：69ha	16%
	予算：17,458万円	実績：3,690万円	21%
令和7年度	目標：580ha	実績(R7.9時点)：32ha	5%
	予算：24,486万円	実績(R7.9時点)：1,756万円	7%



人工造林（地拵え・植栽）上田市上室賀 信州上小森林組合



人工造林（地拵え・植栽）長和町大門宮城 信州上小森林組合

（1）労務の確保

- ・今年度、技能職員を5名採用（上田市の地域おこし協力隊を除く）
- ・新たに協力事業体が加わり、地拵え、植栽、下刈りを実施

（2）スケジューリング

- ・春植え：秋植えの割合は、R6→55:45、R7→50:50 の見込み
- ・下刈りに早朝シフトを導入

（3）苗木の確保

- ・今年度は春植え苗木を全量確保できた
- ・秋植え分も確保に努める

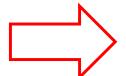
上田地域の森林税活用事業実績及び計画2（市町村と連携した森林整備支援）

市町村と連携した森林等に関する課題の解決 (市町村森林整備支援事業 令和6年度事業実績)

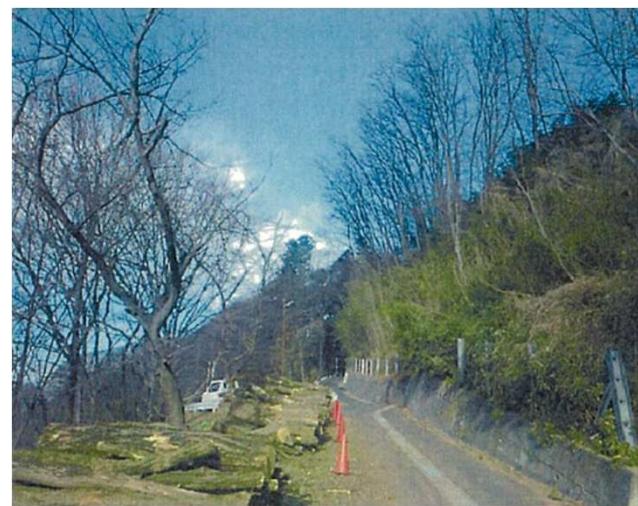
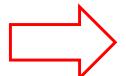
市町村	箇所名	メニュー	細メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	事業量	単位	実施内容
上田市	上田市内全域	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	3,116	1,500	109	m3	松くい虫被害木の伐倒駆除等
上田市	上田市下之郷	森林の病害虫被害対策	枯損木利活用	3,841	2,500	95	m3	松くい虫被害枯損木のバイオマス利用
上田市	上田市上丸子ほか	ライフライン等の保全対策	—	811	540	15	本	危険木の伐倒処理
東御市	西海野	ライフライン等の保全対策	—	869	720	47	本	危険木の伐倒処理
長和町	長久保(学者村地区)	ライフライン等の保全対策	—	1,055	938	19	本	危険木の伐倒処理
長和町	古町	ライフライン等の保全対策	—	783	689	5	本	危険木の伐倒処理
青木村	村松地区	ライフライン等の保全対策	—	1,250	1,125	35	本	危険木の伐倒処理
青木村	入田沢地区	ライフライン等の保全対策	—	1,180	1,062	22	本	危険木の伐倒処理
青木村	殿戸地区	ライフライン等の保全対策	—	1,310	689	35	m3	危険木の伐倒処理
合計				14,215	9,763			

R6実施状況

森林の病虫被害対策[枯損木の利活用](上田市下之郷)



ライフライン等の保全整備（東御市 西海野）

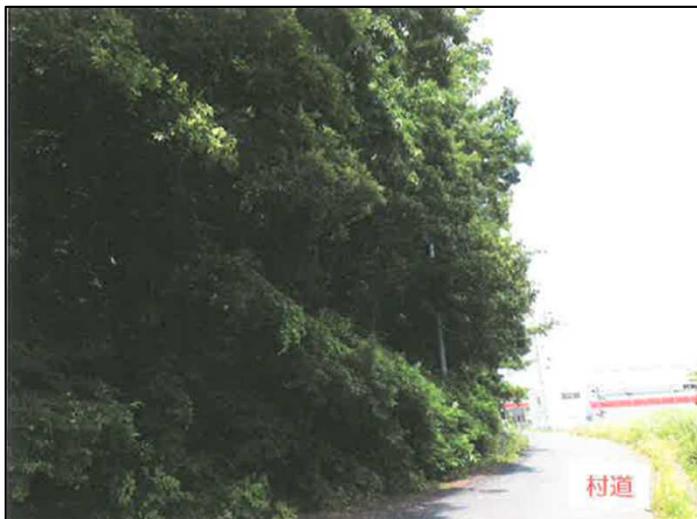


R6実施状況

ライフライン等の保全整備（長和町古町）



ライフライン等の保全対策（青木村 村松・入田沢）



市町村と連携した森林等に関する課題の解決 (市町村森林整備支援事業 令和7年度実施予定)

市町村	箇所名	メニュー	細メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	事業量	単位	実施内容
上田市	市内全域	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	3,004	1,500	93	m3	被害木の伐倒処理
上田市	下之郷	森林の病害虫被害対策	枯損木利活用	2,084	1,800	128	m3	被害木の伐採・利活用
東御市	栗林	ライフルライン等の保全対策	—	1,159	900	30	本	危険木の伐採
東御市	寺坂	ライフルライン等の保全対策	—	945	720	20	本	危険木の伐採
長和町	学者村1期	ライフルライン等の保全対策	—	1,284	1,145	20	本	危険木の伐採
青木村	当郷地区 当郷第1配水場	ライフルライン等の保全対策	—	930	810	22	本	危険木の伐採
青木村	田沢地区 国道143号沿線	ライフルライン等の保全対策	—	2,310	2,000	50	本	危険木の伐採
合計				11,716	8,875			

上田地域の森林税活用事業実績及び計画 3

森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり
県民協働による里山整備・利用（開かれた里山）

県民が広く親しめる里山づくり
(県民協働による里山整備・利用事業 令和6年度事業実績)

市町村	地域名	事業主体	事業メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	実施内容
上田市	飯沼	飯沼自治会 里山環境整備プロジェクトチーム	里山整備利用地域活動推進事業（開かれた里山）	150	150	里山整備、きのこ生産等に必要なチェーンソー、刈払い機の燃料など
		"	里山資源利活用推進事業（開かれた里山）	491	368	里山公園手摺り設置のための資材
青木村	村松西	村松西地区里山整備利用推進協議会	里山整備利用地域活動推進事業（開かれた里山）	360	360	薪材生産、スギ林間伐実施に必要な安全作業・スキルアップ講習会、傷害保険、燃料費など
		"	里山資源利活用推進事業（開かれた里山）	68	50	スギ間伐を利用したログハウス調の倉庫設置に必要な機材
東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム	里山整備利用地域活動推進事業（一般）	313	313	景観整備、きのこ生産等に必要な安全作業講習、燃料、簡易トイレレンタルなど
		"	里山資源利活用推進事業（一般）	320	240	チェーンソーなど機材を収納庫の設置など
上田市	鈴子	鈴子緑のフォレスト俱楽部	里山整備利用地域活動推進事業（一般）	313	313	里山整備（カラマツ除伐、抵抗性アカマツ植栽、竹林整備）実施に必要なチェーンソー、刈払い機の燃料や竹用の替え刃などの消耗品
		"	里山資源利活用推進事業（一般）	733	504	チェーンソー、刈払い機
合計				2,748	2,298	

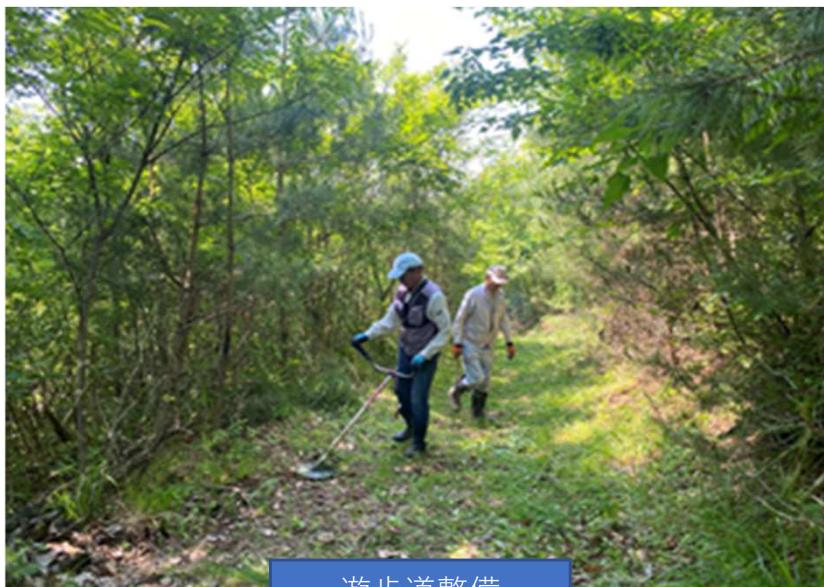
県民が広く親しめる里山づくり
(県民協働による里山整備・利用事業 令和7年度実施予定)

市町村	地域名	事業主体	事業メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	実施内容
東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム	里山整備利用地域活動 推進事業（一般）	500	500	森林整備安全講習・児童指導講習会の開催、林内学習・ レクリエーション活動（カブトムシ飼育、原木きのこ植 菌教室）のための消耗品、遊歩道整備のための機材レン タル、保険料、燃料など
	〃	〃	里山資源利活用推進事 業（一般）	100	75	里山整備・利活用に必要な機材（チェーンソー、きのこ 植菌用ドリル）の導入
上田市	鈴子	鈴子緑のフォレスト 俱楽部	里山整備利用地域活動 推進事業（一般）	350	350	松茸山復活のための活動（枯損木処理、予防樹幹注入剤、 抵抗性アカマツ苗の植樹・保育など）に係る消耗品、燃 料、保険料など
	〃	〃	里山資源利活用推進事 業（一般）	733	525	里山整備・利活用に必要な機材（チェーンソー、刈払い 機など）の導入
合計				1,683	1,450	

活動計画（和地區里山整備プロジェクトチーム）



里山・林内広場を活用しての学習・レクリエーション



遊歩道整備

活動計画（鈴子緑のフォレスト俱楽部）



上田地域の他所管事業の実績（参考）

令和6年度森林税活用事業の地域振興局別実績(1) 【基表再掲】

事業名	事業主体	補助率	地域振興局別執行額			県域	計				
			佐久	上田	諏訪						
I 森林の再生・保全・活性化事業											
■ R6まちなかの緑地整備事業・まちなかの緑地保全（補助）事業 実施見込み											
1. まちなかの緑地整備事業等						(単位：円)					
事業主体	事業種別	箇所・路線名	事業費	補助額（県費）	備考						
上田市	樹木植替えN=9本	上田駅お城口	6,500,000	1,000,000		0	106,685,400				
2. まちなかの緑地保全補助事業						(単位：円)					
事業主体	路線名	区間	区間延長(m)	事業費	補助額（県費）	備考					
上田市	市道秋和踏入線	上田駅お城口ロータリー内	200	400,000	200,000	※不用がある見込み	0				
3. まちなかの緑地保全事業						(単位：円)					
事業主体	路線名	区間	区間延長(m)	事業費	補助額（県費）	備考					
上田建設事務所 (主)	長野上田線	天神2丁目交差点～上田お城口交差点	260	1,200,000	1,200,000	完了	0				
上田建設事務所 (主)	長野上田線	上田駅お城口交差点～中央1丁目交差点	120	300,000	300,000	完了	0				
上田建設事務所 (国)	141号	中央1丁目交差点～中央北交差点	1,000	1,500,000	1,500,000	完了	9,000				
II 緑地・森林の活性化事業											
あたりまえに木のある暮らし 推進事業	④-1	広く県民が利用する施設等の木造・木質化	民間事業者、市町村等	2/3	1,572,000	0	0				
			県	-	0	0	0				
			(うち、R.6へ継続)				(1,000,000)				
やまほいくのフィールド整備や 学校林の整備等	④-2	木工体験の推進支援	木材関連事業者が組織する団体	3/4			3,156,000				
							7,369,000				
	④-3	長野県産材CO2固定量認証		-			(4,234,000)				
まちなかの緑・街路樹の整備	⑤	信州やまほいく認定団体保育環境向上事業	市町村、学校法人、NPO法人等	9/10 1/2	1,043,546	0	913,973				
							0				
	⑥	学びと育ちの森づくり推進事業	市町村、学校法人、NPO法人、みどりの少年団育成会等	9/10 10/10	0	90,000	411,840				
まちなかの緑地・森林の活性化 事業	⑦	まちなかの緑地整備事業	県（県立学校等）	-	428,261	0	0				
							0				
	⑧	まちなかの緑地保全事業	市町村	-	0	2,000,000	0				
	⑨	まちなかの緑地保全補助事業	市町村	1/2	0	181,000	0				
Ⅱ 小計				6,766,707	3,559,300	5,859,813	7,389,068				
合計											
75,315,305											

令和6年度森林税活用事業の地域振興局別実績(2)【基表再掲】

事業名			事業主体	補助率	地域振興局別執行額			県域	計			
					佐久	上田	諏訪					
III 森林・林业活動に取り組む多様な人材・事業体への支援												
			森林空間整備・施設整備	市町村、森林サービス産業 提供事業者等 (55、R.6へ繰越)	9/10 1/2	0	0	0	9,020,301			
③-1	森林サービス産業活動	森林サービス産業創業支援・地域活動支 持	県	-					(1,740,000)			
								816,333	816,333			
(単位：円)												
事務所名	河川区分	河川名	市町村名	箇所名	R6配当				工事概要			
					事業費	10節（需用費）	14節（工事請負費）	18節（補助及び交付金）	延長(m)	面積(m ²)		
佐久	準用河川	蟹原川	立科町	蟹原	2,700,000			2,700,000	300	3,000		
佐久	準用河川	木の木沢川	小海町	馬流	2,700,000			2,700,000	300	3,000		
佐久	準用河川	前川	南佐久郡川上村	原	1,800,000			1,800,000	1,000	20,000		
計	3	3		3	7,200,000	0	0	7,200,000	1,600	26,000		
上田	準用河川	赤頭川	長和町	古町	3,600,000			3,600,000	70	350		
上田	準用河川	西川	東御市	海善寺・和	2,700,000			2,700,000	821	8,210		
計	2	2		2	6,300,000	0	0	6,300,000	821	8,210		
多様な林业の担い手 確保育成事業		②	林业認知度向上対策		県	-			2,068,000	2,068,000		
多様な林业の担い手確保育成事業		②	林业労働時間		10/10	331,734	100,000	0	2,224,404	3,363,677		
III 小計						331,734	100,000	0	13,827,789	23,987,363		
IV 市町村と連携した森林等に関する課題の解決												
市町村森林整備支援事業	③-1	ライフライン等の保全対策	市町村		9/10	2,611,000	3,319,000	1,935,000	0	69,439,000		
	③-2	観光地の景観整備	市町村		9/10	2,701,000	765,000	5,044,000	0	34,810,000		
	③-3	緩衝帯の整備	市町村		9/10	1,857,000	0	0	0	15,107,000		
	③-4	枯損木利活用	市町村		9/10	0	873,000	0	0	21,326,000		
	③-5	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	市町村	1/2	643,000	1,318,000	0	0	4,847,000		
		未被害市町村処理	市町村		1/2	0	0	186,000	0	2,886,000		
河畔林整備事業	③	河畔林整備事業	市町村		9/10	7,200,000	6,300,000	4,050,000	0	40,050,000		
IV 小計						15,012,000	12,575,000	11,215,000	0	188,465,000		
V 普及啓発、評価検証												
みんなで支える森林づくり 推進事業	③-1	みんなで支える森林づくり推進事業	県	-	501,318	252,384	328,186	1,483,524	4,780,158			
	③-2	「体験学習の森」事業	県	-				1,224,700	1,224,700			
V 小計						501,318	252,384	328,186	2,708,224	6,004,858		
合計						95,082,159	49,688,184	32,788,199	23,925,081	491,493,926		

※本表は各年度への繰越分を含めて記載している